

一 勞資間ノ交渉經過

所轄署長ノ勸告ヲ受ケタル勞資兩者ニ於テハ 暮月ニ  
十八日午後一時ヨリ 東京製材協會副會長外大  
名 幸藏 因創大河内 明外三名 合署樓上ニ 於テ 第一回會  
見ヲ 為シタルカ 妥協ヲ見ス 今五時再會ヲ 約シテ 五分  
レタリ

翌エテ 翌二十九日 午後二時ヨリ 製材協會事務所ニ 於  
テ 第二回會見アリ 出席者 前日 合様ニシテ 協會側ニ 於  
テ ハ 前記ノ 高ヲ 裁示シテ 抑締ヲ 重シタルニ 幸藏 因  
創 ハ 幸藏費用 一千五百圓ノ 要求ニシテ 裁示ス 今六時迄  
ニ 次表ヲ 見タリ

一 製材協會側ノ態度

協會側ニ 於テハ 六次案ノ 結果 幹部長談ノ 上 別記(四) 報  
告ニ 依リ 作成別記(一) 覽書ヲ 添ヘ 會負並ニ 帝國製材工研  
究會 幹部等ニ 郵送持久 裁示ヲ 為ストトニ 決定セリ

二 幸藏側ノ動靜

幸藏側ニ 於テハ 六次案後 本部ニ 對シ 製材協會ヲ 用催 飽ク  
運必 勝ヲ 期シテ 裁示ノ 事ニ 決シ 團員ノ 結束並ニ 郵送ノ  
事情ニ 憑リ 可ク 昨一日 午後六時 四十分ヨリ 深川公園  
内 製材協會館ニ 於テ 第四回 幸藏 批判 演說會ヲ 開催セリ  
入場ニ 際シ 下呈料トシテ 十銭宛ヲ 呈シタルカ 入場者  
團員 志願者 及 附近 住民ヲ 合メ 約五百名ニシテ 大河内  
明外 方 製材 民黨ヨリ 布達 夜泊 大道 憲ニ 自由 労働者 組